

シミュレーションモデル適用事例シート

大分類	道路施設	小分類	道路整備	シミュレーションモデル名	AVENUE			
概要	適用事例名 横浜横須賀道・並木 IC 供用時シミュレーション							
	目的・概要 横浜横須賀道・並木 IC が供用される際に、一般道との接続を考慮した交通運用を検討する必要があり、シミュレーションで評価した。評価に際しては、横浜道の供用区間が、並木 IC までの場合と、並木 IC から先が開通した場合の 2 通りの条件でシミュレーションしている。							
	本事例におけるモデル適用上の特徴							
対象範囲及びネットワーク	対象範囲	横横道並木 IC 付近の約 2km 区間		対象時間帯	7:00~10:00			
	評価対象時期							
	対象道路網	一般街路と高速道路						
	ネットワーク規模	ノード数	15	リンク数	25	起終点ノード数	9	総トリップ数
		一般街路ネットワーク		交差点数		信号交差点数	4	道路区間数
		自専道ネットワーク		分岐部数		出入口数		道路区間数
	特記事項							
	(ネットワークの概略図面を添付)							
	入力データ	道路データ	単路部	リンク長、車線数、リンク容量、ジャム密度、自由流速度				
交差点部			飽和交通流率、右折専用レーン長、交差点内滞留台数					
合流部								
信号制御		設定パラメータ	信号現示、オフセット					
		作成方法	将来の交通量に応じて、適切な値をオフラインで求めて設定した。					
交通需要		設定単位	OD 交通量					
		作成方法	現況は観測交通量より設定。将来は現況 OD に拡大率を乗じて設定。					
	空間単位							
	時間単位	15 分ごと						
車両属性区分	小型, 大型							
その他								
モデル設定項目	スキャン方式	periodic scan 方式, 1秒/1スキャン						
	パケットサイズ	1台/パケット						
	経路選択原理	経路選択の必要なし						
	特記事項							
再現性検証	キャリブレーション	パラメータ	各交差点流入部の飽和交通流率					
		方法	旅行時間および断面交通量が等しくなるようにパラメータを調整					
	検証方法	旅行時間、断面交通量を用いた検証						
検証用データ取得方法	旅行時間は走行調査を実施して取得した。							
出力データ	横横道から並木 IC を出るまでの平均所要時間							
記入者	所属機関・部署 (株)熊谷組 土木本部 社会システム部 交通システムグループ							
	電話	03-5261-5526	FAX	03-5261-9350	HP	<a href="http://www.kumagaigumi.co.jp/feature/its/escote.html">http://www.kumagaigumi.co.jp/feature/its/escote.html</a>		
公表文献・資料等								